



### 胆沢区 掛け声も楽しく小正月行事 南都田子育て支援施設でもちつき

小正月行事が1月12日、南都田子育て支援施設で行われました。3学年までの小学生18人が、きねの重さに四苦八苦しながらもちつき体験を楽しみました。

子どもたちは「いち、に一の、さんものしいたけ…」とはやりの歌に合わせてもちつき。出来上がったもちのはあんこなどで味付けし、ひき菜汁と一緒に味わいました。体験した遠藤伊緒理君（南都田小1年）は「きねが重くて大変だった。ねばねばの納豆もちはおいしい」と出来栄に満足そうでした。

重いきねもみんな力で合わせれば大丈夫



### 前沢区 受け継がれた芸能を後世に 前沢郷土芸能祭で9団体が公演

前沢郷土芸能祭は1月23日、前沢ふれあいセンターで開かれました。江刺区からの特別出演を含む9団体が舞や演奏を繰り広げ、来場した約300人の観客を魅了しました。

3番手で登場した白鳥子ども神楽では、白鳥小学校の5、6年生13人が「御神楽」の演目を披露。右手に鈴、左手に扇子を持ち、鶏たちが喜んで飛び回る様子を舞で演じました。観客たちは、そのかわいらしい姿に目を細めて見入っていました。

息のそそった舞を披露した白鳥子ども神楽



後藤副市長から市長旗を受け取る阿部さん

### 前沢区 伝統の市長旗は阿部さんに 前沢牛発展功績者表彰で市長旗授与

岩手ふるさと農協肉牛部会前沢支部（鈴木松雄支部長）の通常総会は1月29日、同農協前沢支店で開かれました。その席上で、前沢牛発展功績者表彰が行われ、阿部育男さんに市長旗などが贈られました。

この表彰は、前沢牛の枝肉販売価格が年間最高額を記録した生産者を表彰するもの。旧前沢町時代から行われています。阿部さんは昨年の全国肉用牛枝肉共励会の和牛去勢の部に出品し、キロ単価8,888円を記録。名誉賞を獲得し、見事日本一に輝きました。



雪上タイムレースで元気に飛び出す子どもたち

### 胆沢区 スキー場で雪を遊びつくせ ひめかゆスノーフェスティバル2011

ひめかゆスキー場で1月30日、スノーフェスティバルが行われました。約700人が来場し、モービルトレインや雪上タイムレースなどの催しを楽しみました。

そりと竹スキー、チューブそりによる雪上レースに参加し、2位に入賞した工藤美月さん（真城小3年）は「きつかった。チューブそりが重くて大変」と息を切らしていました。また、名前が決まっていなかったスキー場イメージキャラクターの愛称が「ひめタン」に決定し、お披露目されました。

### 衣川区 無病息災願い火の粉散らす 毛越寺二十日夜祭に衣川から参加



毛越寺境内で燃え盛るたいまつをぶつけ合う衣川区の男衆

ことしの世界遺産登録を目指す平泉町の毛越寺で1月20日夜、伝統行事の二十日夜祭が開かれました。厳しい寒さの中、献膳上り行列や延年の舞などが行われ、五穀豊穡や諸災消除、延年長寿を祈願しました。

献膳上り行列には、平泉町、奥州市衣川区、一関市中里から5つの団体が参加。衣川の一行約60人は、厄年を迎える男衆が燃え盛るたいまつをぶつけ合いながら、古戸から瀬原を通り、毛越寺までの道のりを練り歩きました。沿道からは酒やもちなどの温かい差し入れもあり、一行は心も体も温めながら雪の中を進んでいきました。到着した毛越寺では、鬼子登りや蘇民袋の争奪戦が繰り広げられ、冬空を熱く焦がしました。

### 江刺区 男衆の掛け声が里山に響く 厳寒の中、伊手熊野神社蘇民祭

伊手熊野神社蘇民祭は1月15日の夜から翌未明にかけて、同神社境内で開かれました。ことし厄年を迎える男衆らが厳寒の中、下帯に足袋姿で火たき登りや蘇民袋争奪戦を繰り広げ、五穀豊穡や災厄消除を祈願しました。

見どころとなっている県内最大級の火たき登り。赤々と燃える炎が観客のほおを照らします。炎と煙に耐えながら「ジャッソー、ジョヤサ」と喉をからす男衆の掛け声が、静かな里山に響き渡っていました。



男衆が氣勢を上げた火たき登り



利用者の前で踊りを披露する花魁役の高橋君（中央）

### 水沢区 優雅な花魁絵巻にうっとり 黒沢尻子供歌舞伎が高齢者施設で公演

黒沢尻子供歌舞伎保存会（高橋司代表）は1月12日、ニチケアセンター水沢で公演を行いました。施設の利用者ら約60人が見守る中、北上展勝地桜まつりで繰り広げられる絢爛豪華な花魁絵巻を披露しました。

花魁を演じたのは、県立杜陵高校奥州校2年の高橋青利君。同校の芸術鑑賞会の開催に合わせて、隣接するセンターへの訪問が実現したものです。あでやかに着飾った高橋君の美しい姿に、会場からは「本物の女性よりきれい」と驚嘆の声が上がっていました。